

日本医師アマチュア無線連盟会報

No.80

MARS 総会の延期に想う

MARS 会長 JA7AOM 及川 忠人(岩手県)

2020年も折り返しの時を迎えようとしております。MARS 日本医師アマチュア無線連盟の会員諸先生方におかれましては、恙なくご健勝でお過ごしのことと存じ、心から日頃の MARS の諸活動へのご尽力を頂いておりますことを感謝申し上げます。

2020年のMARS総会は5月23~24日に大阪にて東條先生他の大阪のMARS会員を中心に企画されておりましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大流行の状況を鑑みて、2020年MARS総会は連盟理事各位のご意見を集約して中止とさせて頂きました。準備に当たられた東條先生をはじめ大阪・近畿地区のMARS会員諸先生に心からの労いとこれまでのご準備へのご苦勞に感謝申し上げる次第であります。

そのような状況下ですが、次の総会への準備を如何にするべきか等の課題は山積しております。今年度の会報を通して自由闊達なご意見を頂き、MARS活動の運営方針を定めて参りたいと願っておりますので、積極的なご意見をご提案頂ければありがたいと考えております。

各地域MARS会員におかれましてはアマチュア無線原点であるモールス通信によるロール

コールが JI1VAH 局 天谷先生により毎週金曜日の 22 時に 3.526MHz で定常化して約 10 局の CW(A1) の交信ロールコールが継続されていることは、とても意義深いことと嬉しく、また参加することが楽しみになって参りました。40 歳代に覚え第 2 級アマチュア無線技士の実技試験に何度も不合格したことが懐かしい思い出でありモールス符号を慣れない耳で自分の老化退行現象とのせめぎあいとなり、自分のモールス言語訓練の回復過程との自験経験、言語リハビリテーションと位置づけて継続することに意義があると思いき楽しみになって参りました。

一方ではインターネットを組み合わせた WIRES 通信も新潟の JR0NQU 局山本先生を中心に定期的継続されるようになっております。小生も東日本大震災後、三陸復興ネットワークとして岩手県内の WIRES 通信を 2m バンドを中心に毎週行われておりましたが、残念ながら停止の現状であり、また復活させる必要があると考えております。特に昨今の日本の中では極地災害多発に加え大規模災害時の連絡支援活動と支える大切な災害早期の非常通信手段の一つとしての役割が見直されるべきであると思っております。

さらに Zoom の集団画像通信が毎月第二水曜日 21 時に開催されることになり、東條先生等関西の会員諸先生のご尽力で face to face の Eye Ball Meeting が定期的で開催されることになりました。DX に詳しくご活躍の会員諸先生におかれましては FT8 との通信手段が普及しつつあるとのことを JHOLME 局 姉崎先生から伺い、通信手段の多目的化が急速に進んでおります。

これらの一連の活動は極めて重要であり、特にコロナウイルス感染症の対応に苦慮している社会経済情勢を鑑みる時に、極めて有用かつ重要な役割を担う可能性が高くなり、我々の活動の社会的要請に繋がる可能性はとて高いと考えております。

先日、5 年ぶりのアマチュア局免許申請継続の手続きを取りましたが、技術基準適合証明機種のトランシーバーに取り換えることが出来ました。我々のアマチュア無線の趣味はとて恵まれた環境下にあり定期的に医師としての活動の中で、自分を忘れるとて貴重で楽しい時間を与えられていると思います。その趣味を通して有事には災害支援等の活動の場を与えていることは、大変ありがたいことであり、日頃の電波の恩恵を受けている利用者としては当然の責任とも考えるべきでないかと思ひます。

インターネットの便利な時代になりましたが、我々の活動はとて地味な活動を主体に全国の素晴らしい会員諸先生とアマチュア無線の趣味を通して様々な出会いを与えられとて感謝しております。

コロナ禍の中での活動はようやく解除の方向で動き出しておりますが、第2波の到来の可能性も高いとてことであり、さらに継続的な対応が必要であると考えております。またこのコロナウ

イルス感染症対策の現状の中で、通信手段の拡大とそれぞれの特徴を踏まえた活動をさらに盛んにして参りたいと念じております。

小生は地元盛岡にある岩手医大の大先輩であった JA7DF 故岩動隆一先生との学生時代の交流と出会いがきっかけになり、ロータリーホームクラブ、そして MARS へのお誘いを受けたことが今日に至る出発点であると今でも感謝しております。

当時807シングル送信機を自作し、さらに高1中2受信機を自作したことが大きな小生の転換点でありました。小生の父親が勤務する高等学校で様々な通信機材料を注文することが分り、父親にお願いしてそれらの部品を取り寄せて父親に負担をお願いして、部品集めをしながら、アマチュア無線局開局の準備をした頃が懐かしく思い出されます。実際に電波を出して開局したのは数年あとになりますが、今でもその自作キットは小生の青春の思い出として倉庫に大切に保存しております。

JA7DF 岩動隆一先生は立派なキットをご自分の診察室の 2 階に整備されておられましたが、とて立派なシャックに驚いたことが思い出されます。また学生時代に近距離でしたが JA7DF 局と 7MHz の AM 交信することになりました。そのころは水晶発振よりは VFO を使い周波数を合わせる事が主流でありました。交信中に「周波数をうごかすな！」との電波が強力なパワーで入感したことが懐かしい思い出です。それが電波で大声でしかられた最初で最後の貴重な経験であったとあとで理解することが出来ました。

小生は鉱石ラジオから始まる典型的なラジオ少年でありました。父親が農業高校の教諭でしたので、アマチュア無線機器の整備を自作で

行う機会を与えて頂いた父親には今でも感謝しております。今同じ職場で働いている長女や長男への働きかけ等を振り返りますと自分だけの趣味の域を超えないことに気づかされます。

JA7DF 岩動隆一先生はご子息の JH7OLB 局岩動孝先生にもアマチュア無線の手ほどきをされ、MARS の理事の一人としてご活躍・ご支援を頂いております。

小生はこのアマチュア無線を通して多くの様々な職業の方々との交流により多くの出会いを与えられていると考えております。我々は医療の現場で極めて特殊な限定された環境の中での職責を与えられておりますが、これらの趣味を通して幅の広い交流による学びの機会を与えられていることに心から感謝せずにはおれません。

コロナ禍のなるべく早いソフトランディングを期待しつつ、第2波が大きなものに成らないことを願いつつ、MARS 会員のそれぞれの地域におけるご活躍とご健勝を重ねてお祈り申

し上げる次第であります。

はなはだまとまらない内容になりましたが、以上、コロナウイルス感染者ゼロの岩手からの発信となります。現実には市中感染があり不顕性感染が見つからないだけに過ぎないと考えて、コロナ禍の予防対策に万全を期したいと願っております。MARS 会員のさらなるご活躍と今後とも MARS 諸活動へのご支援ご協力をお願い申し上げます。MARS 会長としてのご挨拶に替える次第であります。お空での出会いをさらに拡大することを目標にしたいと願いつつ筆を置きます。

MARS 会員各位へのお願い 2020-10-5

MARS 会員諸先生方におかれましては、今年度当初から、5月22日に開催予定で準備されていた MARS 大阪総会を延期せざるを得ないということで、コロナウイルス感染症の拡大推移を見守ることで、今年度の総会は4月初旬に延期と決めさせていただきました。

7月に総会延期についての会報への投稿をして、今回の MARS 会長としての挨拶でも述べましたが、現状では新型コロナウイルス感染症の着地点は見えないのが実情でございます。MARS の組織はあくまでアマチュア無線を中心とした親睦団体であり、その点アマチュア無線を通して会員相互の親睦が最も大切であり、会員の安全と安心を最優先して今後の総会等の在り方を検討して参りたいと考えております。

MARS 会長 JA7AOM 及川 忠人

令和3年度の MARS 総会は4月下旬から5月上旬の時期に、実施したいと考えておりますが、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を客観的に把握理解したうえで、慎重に総会開催の場所・様式・および総会内容等の吟味が必要であると思っております。総会開催に係わるご意見があれば事務局にご意見を頂きたいと思っております。また10月、11月の ZOOM ミーティング等へ遅くとも11月下旬までに率直な意見を頂きたいと考えておりますので宜しく願い申し上げます。各地域における新型コロナウイルス感染症の拡大が早く終息することを祈念しております。全国各地の MARS 会員諸先生方のご健勝をお祈り申し上げます。

MARS 会員都道府県別分類

J A 1 15局

東京都 JA1FF JA1BOW JF1SXY
 JK1AIN JL1BGP JP1HIS
 神奈川県 JH1IAA JE1TNL
 埼玉県 JR1CDJ JR1JIC JL1LRJ
 茨城県 JI1VAH
 群馬県 JA1KXT JR1SJD
 千葉県 JM1BIX
 栃木県 なし
 山梨県 なし

J A 2 9局

愛知県 JA2DQH JH2QBQ JR2GSI
 静岡県 JR2RWU
 岐阜県 JA2MTE JR2FGQ JR2GPR
 JS2BBE
 三重県 JK2ACI

J A 3 25局

京都府 JA3ASU JR3JJQ JF3BIE
 JF3ITN
 大阪府 JA3BQT JH3AEF JF3EKP
 JF3MTM JG3WSI JL3SIK
 JM3FUW JO3VKD
 滋賀県 JF3PMG
 兵庫県 JA3XED JH3GOB JH3QMF
 JF3LPM JO3RUL
 奈良県 なし
 和歌山県 JH3TCC JF3JON JI3CIN
 JJ3KUL JM3BCQ JN3ASW
 JP3NGG

J A 4 3局

岡山県 JE4EWM(exJA5LDZ)
 広島県 JH4DPL JH4UYB
 鳥取県 なし
 島根県 なし
 山口県 なし

J A 5 1局

香川県 なし
 徳島県 なし
 愛媛県 なし
 高知県 JH5KAJ

J A 6 7局

福岡県 JA6BMB JA6RQK JH6IBM
 JE6IUM
 大分県 JE6ICQ
 熊本県 JE6MRG
 宮崎県 なし
 鹿児島県 なし
 佐賀県 JR6EZJ
 長崎県 なし
 沖縄県 なし

J A 7 15局

青森県 なし
 秋田県 なし
 岩手県 JA7AOM JA7PPA JH7HVF
 JH7HIR JH7OLB JH7XGQ
 山形県 なし
 宮城県 JA7EVM JA7WTH JH7CAI
 JH7EQW JH7QFA JP7DMV
 福島県 JA7NME JO7XVL JP7FSO

J A 8 1局

北海道 JA8JDQ

J A 9 3局

富山県 なし
 石川県 JK1QLR
 福井県 JE9RWF JR9FQO

J A 0 3局

新潟県 JH0LME JR0NQU JR0QWW
 長野県 なし

_____は他エリアからの移動局

計82局

(2020年10月現在・2年以上会費未納局は除く)

MD CW NET

JI1VAH 天谷龍夫(茨城県日立市)

2019年2月から4月まで、日本医師アマチュア無線連盟による日本医学会総会記念局、8JnMが運用されました。総交信数12390局、3ヶ月にわたり、MARS会員20名による運用でした。

その運用計画を練るにあたり、名乗り出たオペレーターの運用スタイルを把握する必要があり、運用希望周波数、モード、運用可能時間などのアンケートをとらせてもらいました。その中で、CW運用可能なメンバーが20局中13局おられることがわかりました。4月30日、記念局最終日、最終交信を終えた後の虚無感は、4年前の8J3Mの記念局運用終了時にも経験していたとはいえとても寂しいものでした。ML上での密なコミュニケーションも記念局運用とともに消滅するかと思うと心に穴が開いた感じがしました。運用に携わってきた各局も同じような思いをしたのではないのでしょうか。何か新しいことができないか、思案し始めました。

記念局運用が機でCWデビューされたJH7HVF菊池先生もHF帯で継続してCWでコンタクト希望されていました。そこでCWロールコールなるものをやってみましょうということになりました。

原点は、1970年代、東京板橋のマンション12階に住んでいたときの毎週日曜日の夜開催されていた2mCWロールコールでした。当時、JA1DD局がキー局となって、SSB CWのクロスモードで行われていました。144.100MHzでキー局はSSBでコールし、各局応答はCWでした。自分も何度も参加しようと思いましたが、度胸がなく一度もコールできませんでした。関東一円多くの局が聞いている中でコールを

打つことは、躊躇しました。さらりと和文で挨拶をする局も居て大きな憧れでした。いまでも2mCWロールコールは続いているようで、関東、山梨、静岡、あたりまで100局近い2mCW局がコールされているようです。

全国規模のMARSのNETは、HF帯になりますので、SSB CWのクロスモードでは不可能ですが、基本は、自分のコールサインが打てて、自分が呼ばれたのがわかれば参加可能です。

運用時間については、毎水曜日に、朝6時から3.5MHzSSB、6時半から7MHzSSBでのMD NETがありますが、大学病院勤務時代には朝の運用はなかなか難しく、思い切って夜にしました。運用曜日は、金、土、日、のどれかで考えました。土曜日も候補でしたが、コンテストがある週はQRMでほとんど使い物になりません。日曜日は気分的に月曜日の仕事準備モードが入るので楽しくありません。それで金曜日にしました。土曜日仕事もありませんが気分的に何かほっとするのが金曜日です。

開始時間は、夜8時、9時、10時開始で考えてみました。8時では、仕事や会議から帰ってこられない時間ですし、9時もキー局として勉強会や委員会が入っている場合には、定時スタートはきつくなります。それで10時にしてみました。JHOLME局はすでに就寝の時間になり参加できないようで申し訳なく思ってます。

運用周波数ですが、このところのHF帯のコンディションの悪さを考えると、ハイバンドはもちろん、7MHzも無理なようです。10MHzも候補に入れましたが、10MHzのアンテナを張っていない局もおられそうで、1.9MHzにいたっ

てはさらにハードルが高くなります。まずは、3.5MHz とし、「CW ロールコールの実験」として ML にアップしました。誰も出る局が居なければ、JH7HVF 菊池先生と 2 人だけでのコンタクトでもいいと思いだめもとでチャレンジしてみました。



天谷医院の屋上とアンテナ群です(近くのハムショップと間違えられ時々ハムが訪ねてくる)。3.5MHz は手前の DP から出ています。奥は、タワーに 7MHz、10MHz のロータリー DP と 4 エレの STEPP IR を乗せてます。そのもつと奥は、日立の霊峰 神峰(かみね)山です。太平洋からの御来光が神々しい山で、右端の鞍掛山から縦走できます。

記念すべき第 1 回 MD CW ロールコールは 2019 年 5 月 17 日 22 時からで、3.528MHz で「CQ MD DE JI1VAH」を打ちました。

第 1 回 MD CW NET 参加局

JH3AEF JP7FSO JF3JON JH3TCC
JR2GPR JA1KXT JF3MTM JH7HVF
JM3FUW JA7TJ JI7RRS JI1VAH(キー局)

11 局からコールされ、うれしい初回でした。朝の SSB でも一度も交信したことのない JR2GPR 局、JM3FUW 局からもコールされ驚きました。コンディションはあまりよくなく、

JA1KXT 局のアシストに助けられました。第 2 回では JL1LRJ、JA7AOM 局もチェックインされ、また、RN0JT 極東ロシアからもコールされにぎやかなロールコールでした。

周波数は、3.528MHz ですと大陸の SSB の QRM と商業放送が聞こえてきたりします。そこで少し下がって 3.526MHz 付近で出ることになりました。第 2 回目まではコールする順番はなく、こちらの CQ MD に対して各局それぞれのコールをピックアップしていました。ピックアップ方式だと弱い局を聞き取っているときに別の局のコールが聞こえたりして意外に非能率的なのがわかりました。3 回目からは、それまで QRV された局、アンケートで CW 運用可能な局をほぼ北から順番で呼ぶ方式としたところ大変能率がよくなりました。

ロールコール終了後にコールしてくる局に JF3LPM 局が居られました。毎回コールされてくるので不思議に思っていましたら、だいぶ後になって MARS の会員であったことが判明しました。大変失礼いたしました。夏は、JL1LRJ/0 軽井沢も聞こえてきました。今年の 4 月には、JH7HVF/6 が 2 週続けて熊本から QRV しました。息子さんの大学入学のために九州に飛んだようですが、しっかりとアンテナポールと ZEPP、FT-817 を持っていかれたようです。橋の欄干にポールを立てて、ワイヤーアンテナを張っての QRV に頭が下がります。1 エリアには 449 で入感していました。3 エリアにはもっと強く入っていたようです。QRP 運用でも CW は十分に交信ができるようです。

休むことなく今年 5 月で丸 1 年を迎えました。わずか 15 分程度で終了するコンタクトですが、MARS 各局それぞれ打ち方に癖(個性?)があり皆さんのお元気そうなキーイングが聞こえてくるのも楽しみの一つです。

これまでの MD CW NET IN 局 (MARS 会員)

JA7AOM JH7HVF JA7WTH JP7FSO
 JA1KXT JL1LRJ JR2GPR JH3AEF
 JM3FUW JF3MTM JF3JON JH3TCC
 JF3LPM JR1SJD JI1VAH

コールしてきた一般局

JA7TJ JA1ORM JR6HK JR1AIA
 JJ3LXM JA2DHF JA7ARW JS2DJM
 JR0RBY JA6JHH JN1MET JA0IPT
 JP7KUE JH2VEP JQ2VGG 7N3WRE
 JA1FVJ JN1RNP JA7BWV JI7RRS
 RN0JT HL5JZ

現在下記のような様式で行っています。ご自分のコールが打てる局は、ぜひコールお願いいたします。

毎週金曜日 2200JST 3.526MHz 付近
 CQ MD DE JI1VAH NW CALL MD
 STN
 FRM NORTH BT
 JA7AOM PSE K

DE JA7AOM GE UR 599 BK

BK DE JI1VAH GE UR 599 BK

BK JI1VAH DE JA7AOM TNX GL
 73 TU E E

R TNX HPE CU AGN 73 TU E E

TU E E

JH7HVF PSE K

DE JH7HVF ……以下同様に続きます

北から順番にコールし、最後の局までコールしましたら

CQ MD DE JI1VAH K 2回

その後 一般向けに

CQ CQ DE JI1VAH K

応答なければ

TNX ALL MD STN NW QRT AR
 DE JI1VAH 73 TU E E

その後各局のフリートークですので各局自由にコールして交信してください。



最後に天谷医院の病室を改造した研究室(無線部屋?)の写真です。リグは FT-897 を使用しています。上の FT-991 は C4FM WIRES-X 用で、パソコンには最近始めたリモートミーティング用の WEB カメラが付いています。パドルは、カツミの古いスクイズ KEY EK-150 を使っています。こんなところから出ている MD CW NET です。皆さんのチェックインをお待ちしています。

2020年の私のMARS ハムライフ

JH7HVF 菊池俊彦(岩手県遠野市)

(1)毎週水曜日の朝の 3.5MHzと 7MHz の SSB ロールコール

水曜日の朝は早く、5:20頃からJR1SJD局(群馬の井上先生)からお声がかかる。

35mHighのクランクアップタワーとロータリーダイポールからの1KWの電波は、毎回59+30dBと強力に届く。JI1VAH(天谷先生)、JA1KXT(相田先生)が入ってきて、JHOLME(姉崎先生)が入ってくる。

このように、水曜日の朝は早いので、火曜日には早く就寝して、水曜日朝は、5時前に起床するように心がけている。

それにしても、毎週、皆様のお声が聞こえて大変楽しい。続けて行きたい。

(2)毎週金曜日夜 10 時からの 3.526MHz の CW ロールコール

2019年5月に、JI1VAH(天谷先生)の声掛けで始めたCWロールコールは、今年5月で1年を経過した。これがまた楽しい。まったくのCW初心者の方は、ラバースタンプで送受信することにより、CW-QSOできることに興奮しました。私でもできるんだ!

もちろん、あらかじめ、送受信する文章は、JI1VAH局に作ってもらいましたので、

助かりました。ときどき、天気の話、リグの話簡単なラバースタンプで送信しています。

2020年3月からは、「和文CWも楽しいから覚えてみない?」とJI1VAH局に誘われ、

ちょっとずつ和文の勉強をはじめ、「コチラノテンキハハレ」などのラバースタンプQSOをしています。なかなか聞き取りの方がが難しく、いつになったらフリーに和文CWで会話できるようになるか分かりませんが、JI1VAH局、気長にご指導ください。

(3)熊本での移動運用

2020年4月に次男が熊本の大学に入学した際も、熊本にリグ(FT-817)を持っていき、金曜日夜10時から、橋の上に40mのZeppアンテナを張り、5WでCW-QSOしました。弱くて届くかどうか心配しましたが、JI1VAH局の耳の良さに助けられました。引っ越しのために行きましたが、無線機とアンテナ、ケーブル、釣り竿、アンテナチューナー、バイク用バッテリーなどをスーツケース一杯に持って行ったものだから、妻に「何しに行くの?」と白い目で見られました(笑)。熊本には、ついでにヤエスFT-3Dを持っていき、Wires-Xもできました。

(4)毎週金曜日夜 10 時 15 分からの Wires-X

金曜日の夜のCWのロールコールが終わってからすぐ、Wires-Xが始まります。

2019年はアナログノードから入ってQSOしていたが、2020年初めに、ポータブルデジタルノード局を作り、デジタルで運用しています。#48682のJR0NQUルームに入り、QSOします。タイムラグがあるQSOですが、これもまた面白い。一緒にウェブカメラミーティングも併用してるので、顔を見ながらのQSOになるので、不思議な感覚である。

(5)第2水曜日の夜の、ZOOMミーティング

2020年4月頃から始まったZOOMミーティングは、私を含め、初めは慣れない先生もおられました。徐々に要領を得て、アイボールミーティングのようになっていきます。

普段のロールコールで声でしかお会いしたことのない人のお顔を拝見できるというのは面白いことだと思いました。今後とも続けて欲しいと思っております。

相互運用協定による海外(ZL)からの運用

JI1VAH 天谷龍夫

海外からアマチュア無線の波を出したいという思いは、誰でも持っていると思います。しかし、電波というものは、非常にデリケートな部分もあり、国によっては、ひとつ間違えば違法行為として大変な罰を受ける可能性があります。そのために、国外からの運用は、ライセンスの問題など申請の複雑さから実現できないのが現状です。当局は、20年ほど前から、年末年始にニュージーランド(ZL)にキャンプと釣りに行っていました。その中で、ZLから電波が出せないものか思案していました。電波といっても、ネイティブ英語圏でPHONEでCQを出すほど度胸も英語力もありません。しかし、CWなら世界共通言語ですので何とか対応できそうです。2013年ZLが10カ国目として、日本と相互運用協定を結んだのを機にハードルがひくくなり、その思いが一段と強くなりました。その後インドネシアも加わって、現在日本は、以下の11カ国と相互運用協定、正確には相互認証制度によるアマチュア無線の運用を認めています。

相互運用可能な国

アメリカ、カナダ、ドイツ、フランス、オーストラリア、韓国、フィンランド、アイルランド、ペルー、ニュージーランド、インドネシア

その中でも、事前の許可申請がなくても電波が出せるのは、アメリカ、フランス、オーストラリア、ニュージーランドの4カ国のみです。それ以外の国において運用するには事前の申請および許可が必要で、しかも、ライセンスが下りるまで60日ほどかかるようですので長期の準備が必要になってきます。

最近では、日本の第一級アマチュア無線技

士資格に限り、欧州郵便電気通信主管庁会議(CEPT)勧告規定により、下記の国においては、事前に申請すればアマチュア局運用は可能のようですので参考にしてください。

欧州郵便電気通信主管庁会議(CEPT)勧告 T/R61-02 付録第2号別表第1号に規定される国

アルバニア、オーストリア、ベルギー、ベラルーシ、ブルガリア、クロアチア、キプロス、チェコ共和国、デンマーク、フェロー諸島、グリーンランド、エストニア、フィンランド、フランス、ドイツ、ギリシャ、ハンガリー、アイスランド、アイルランド、イタリア、ラトビア、リトアニア、ルクセンブルク、マケドニア旧ユーゴスラビア共和国、マルタ、モルドバ、モナコ、モンテネグロ、オランダ、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、ルーマニア、ロシア連邦、セルビア、スロバキア共和国、スロベニア、スペイン、スウェーデン、スイス、トルコ、イギリス

周囲にZLからの運用経験者は全く居ず、情報もないまま、ZLからの運用を実現するために、まず、JARL 国際課に電話してみました。担当者が不在なので後日かけなおして欲しいということで、改めて後日電話をすると担当者が対応してくれました。一言「可能ですので詳しくは総務省のほうへ問い合わせてください」との事で、担当のメールアドレスを教えてくださいました。そこで総務省の担当部署に、こちらの滞在期間、所持ライセンス、希望周波数などをメールで送り返事を待ちました。4日ほどして返信があり、「90日以内の滞在なら運用可能ですので、詳

しくは JARL 国際課に問い合わせてください」
とのことでした。1週間かかって元に戻り、具
体的なことは全くわからずじまいでした。そ
こで、ZL の Radio Spectrum Management に
直接メールしてみました。わずか数時間で下
記のような返信があり、しかも非常に WEL
COME な雰囲気、一気に運用が現実味を帯
びてきました。

Hello Tatsuo Amagai

You may operate your amateur radio station during your visit to New Zealand under the terms and conditions of our Radiocommunications Regulations (General User Radio Licence for Amateur Radio Operators) Notice 2013.

Please see attached pdf copy of this notice. It specifies the New amateur radio frequency band available for your use.

When transmitting you must use either of the following callsigns:

ZL/JI1VAH or JI1VAH/ZL

Please bring your 1st class amateur radio station licence with you and have it available for viewing if requested by a New Zealand government official .

You may bring your own radio equipment with you to use in New Zealand.

I hope that your visit to our country is an enjoyable one.

Regards

Siegmund Wieser

TECHNICAL OFFICER

Radio Spectrum Management.

Infrastructure & Resouce Markets Group
Ministry of Business, Innovation &
Employment

RSMLicensing@mbie.govt.nz

Free Phone 0508 RSM INFO (776463)

33 Bowen Street. PO Box 2847.

Wellington. New Zealand

いよいよ、自分で機材を持ち込んで、海外から CQ を出すことができそうです。さらに和文 CW を打つことも、できれば正月なので、ZL から JARL ニューイヤーパーティに参加することなど夢は膨らみました。この ZL のオフィシャルメールを印刷し、もし運用時になにか聞かれたら提示できるようにライセンスと一緒に持って行きました。



例年の釣りやキャンプ道具だけでも大荷物なのに、さらに無線設備の準備となると大変でした。当初、同軸は 5D2V を 20m 用意しましたが、余りの重さに驚きました。仕方なく同軸は 3D とし、10m を 2 本準備し、同軸ロスを考え、状況に応じて接続するようにしました。無線機以外での重量物は電鍵で、1kg 近い重量は致命的です。そこできわめて軽い木製台座のノギリ刃を使った自作複式電鍵を持って行きました。南半球の伝播状況がわからないので、一応アンテナは、4 バンド出られるように準備しました。7MHz と 21MHz は DP、10MHz と 14MHz は ZEPP アンテナ、ポールは 10m のガラスポールを用意しました。無線機は ZL は家庭用の電圧が 200V なので、変圧器不要で 200V 対応可能な FT-897 にしました。無線機をスーツケースにつめると軽く荷物重量は 20kg を超えてしまうので、手荷物として機内持

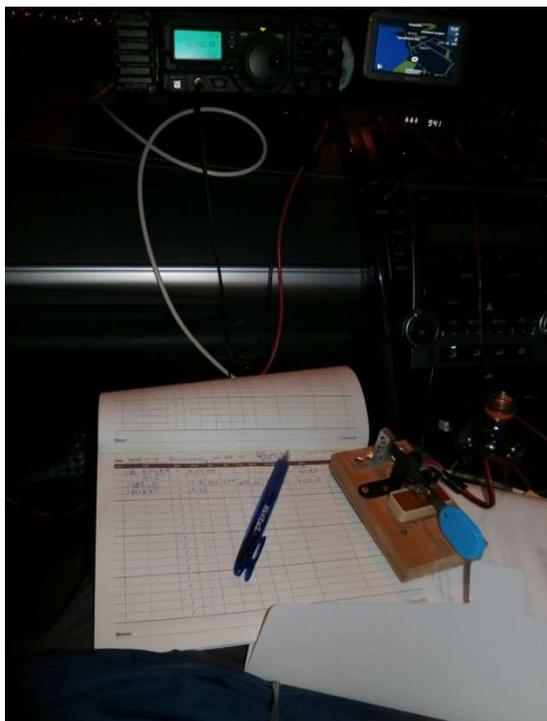
ち込みとしました。宿泊モーテルにアンテナが張れない場合には、モービルからの運用も考え、鱈口クリップを直接半田付けしたDCコードも持っていきました。意外とこれは重宝し車のバッテリーの端子を簡単に利用することができました。

空港のセキュリティーチェックを通過するときには透視画面に怪しげなコイル類が映っていましたが、Radio Equipment と説明し、ポールも Fishing Rods ということで無事通過しました。いつもなら何気なく見ている航空機内の座席のモニター画面も C2 H44 YJ 3D2 FK8 VK9 ZL8 のコースで飛んでいくようですっかり無線モードの感覚で地図を眺めていました。



現地でのレンタカーはトヨタのカムリを借り、ZL北島のタウポ湖のリゾートモーテルに宿泊しました。12月31日までは、ヘリコプターで山に入りキャンプをしながら釣りをし、正月はのんびり無線をするという計画です。年末年始のハイシーズンなので観光客も多くモーテル敷地内にアンテナを張ることはできそうにありませんでした。12月31日、夕方にキャンプから戻って、シャワーを浴びてタウポ湖の公園の駐車場に行きました。街路灯に10mのポールを縛りつけ、同軸をつなぎ、左右の木にステーを張って DP 完成です。車の中に無線機を置き助手席で JI1VAH/ZL QRV 開始しました。

日本とのスケジュール QSO も成功し、



21MHzでCQを出すと F DL SP UA などからコールされました。また、ZL のローカル局からもコールされ、「QTH is near Taupo NW Enjoy Holiday 」などとCWで打っていました。アンテナ設営当初は、誰も居なかった公園の駐車場も、新年を直前に人も増え、すぐ隣ではヒッピー風の若者たちが車の音楽を大音量で流しながら集まってきました。ちょっとヤバそうかなと、少し緊張しました。彼らからすると見知らぬ東洋人が真っ暗な車の室内でヘッドフォンをつけ、黙々と何かをしているという状況ほど不気味なことにはなかったかと思います。

24 時を過ぎて新年になり、日本では、「ゆく年くる年」でお寺の映像とともに除夜の鐘の音が TV から流れてくる時間ですが、ZL の新年は花火が上がり皆で大盛り上がりしていました。隣の若者は相変わらず大騒ぎしていましたが、こちらも疲れてきたので無線機材を撤収しました。アンテナをたたみモーテルに戻ったときに、縮めたアンテナポールを街路灯に縛り付けたまま帰ってきてしまったことに気がつき、再度駐車場に戻りました。若者たちはまだ居ました。暗闇でポールを縛り付けているロープをはずそうとしたときに、先ほどのヒッピー風の若者が車のヘッドライトつけて作業がしやすいように照らしてくれました。見かけによらずいい人達のようにでした。「サンキュー、グッドナイト」と挨拶を交わし駐車場を後にしました。

元旦は、国道沿いの小さな公園から運用しました。ZL では、道路わきの広々としたスペースに家族でランチを楽しむような備え付けのしっかりとした椅子テーブルがあります。そこにアンテナポールを縛りつけ、車の電源を使用しベンチでのんびり QRV しました。



7MHz では、日本の「CQ 和文」が聞こえてきます。呼ぶとコールバックがありましたが、JI1VAH/ZL の意味がよくわかってもらえないようでした。和文で「ニュージーランドから出ています」と打つとようやく理解してくれるようです。和文での DX・QSO はあまりないようです。さらに、JARL のニューイヤーパーティにも出まし

た。日本の局の「CQ NYP」はよく聞こえるのですが、さすがに 9000km も離れていると呼んでも日本の強い局に拾われてしまいます。それでも必死にコールし JI1VAH/ZL で NYP にも参加できました。



のんびり CQ を出していたので 7、14、21MHz で(10MHz は一度もアンテナを張りませんでした)で、トータル 40 局ほどしかできませんでした。それでも 14 エンティティありました。

交信したエンティティ

JA DL F UA BV LY SP
RI VK ZL OK UY 7X YB

面白いところでは、最初 7K4 と聞こえたので、JA のセブコールかと思ったらサフィックスは 2 文字でした。よく聞くと K に聞こえたのは X でした。7X4、アルジェリアからの信号でした。日本に帰ってから、地球儀でよく見ると ZL と AF は



意外と近く、北半球で言うと JA と KH6 みたいな感覚のようでした。また、RI (南極) も強力に入感していました。ZL は南緯 40 度ほどですので、すぐ南は南極大陸でローカル並みで聞こえていました。



キャンプと釣りがメインの ZL でしたが、さらに無線運用をしましたので寝る時間もなく充実した 1 週間でした。ZL は治安もよく、夜公園に一人で居ても強盗にあうこともまずありません。逆に車が故障していると思われて自転車で通りがかった人が「Are You OK?」と声をかけてくれました。今回、相互運用協定のおかげで複雑な手続きもいらず海外 (ZL) からの無線を楽しむことができました。もし海外からの運用を考えている方が居られましたら参考にさせていただければ幸いです。

日本医師アマチュア無線連盟(MARS)の活動と入会方法について

MARS は、1977年(昭和52年)に創設されたドクターハムの親睦のための団体で、既に43年の歴史を持ち、次のような活動を行っている。

1) 総会と懇親会

毎年4～5月の土曜日の午後、全国各地で総会と懇親会を開催している。

2) 毎週水曜日の朝 3.565MHz LSB(06:00～06:30 byJA1KXT) 及び 7.150MHz LSB(06:30～07:00 byJH7QFA)、毎週金曜日の夜 3.526MHz CW(22:00～byJI1VAH) 付近及び WIRE-S-X #48682 の JR0NQU ルーム(22:15～)でロールコール(MD ネット)を行っている。

3) 日本医師アマチュア無線連盟会報(MARS ニュース)を毎年発行している。

4) MARS 医学アワードおよび MARS 医学アワードⅡを発行している。

5) クラブ局(JM1ZZM)を設置している。

6) 日本医学会総会記念局(8JnM)を、医学会総会開催年に設置・運用している。

7) MARS のホームページを開設している。

URL は <http://www.jmars.jp/>

8) MARS メーリングリストを開設している。

加入申請は、jh3tcc@jarl.com まで。

事務局: 〒028-7303 八幡平市柏台 2-8-2

東八幡平病院内

日本医師アマチュア無線連盟

電話 0195-78-2511

F A X 0195-78-3437

E-mail tadato@rnac.ne.jp

会費 : 入会金 5,000 円、年会費 8,000 円

入会方法 : MARS ホームページの TOP ページから入会申込書入手しご記入の上、事務局 まで E-mail にてお送りください。

会長 及川 忠人 (JA7AOM)

オリオン座ベテルギウス、大爆発の予兆？

JR1CDJ 大久保 嘉明 (埼玉県北本市)

昨年 3 月頃から座骨神経痛がひどくなって歩けなくなり、5 月に「椎間板ヘルニア切除術」を受けた。歩けるようにはなったが、右下肢の筋力低下と足関節背屈不全でぎこちない歩きが続いている。おまけに平衡感覚もおかしく、ただ立っていてもふらついたりしてたまに転びそうになる。これでは駅のホームで線路際を歩くのは危険だ。線路に倒れ込んだりしたら、飛び込み自殺と間違えられそうだ。遠距離旅行禁止のドクターストップもむべなるかな。

それでも運動不足解消のため毎晩夕食後、1 時間ほどの散歩だけは楽しんでいる。西の空には宵の明星<金星>が燦然と輝いている。マイナス4等星位だろうか、望遠鏡で見ると三日月形に見える筈だが肉眼では光点としか見えない。

★冬の大三角形(Winter Triangle)

この時期天頂から南側を眺めるとシリウスが一際明るく輝いている。このおおいぬ座 α 星シリウス(Sirius)と、左上に見えるこいぬ座 α 星プロキオン(Procyon)、それに右上のオリオン座 α 星ベテルギウス(Betelgeuse)の3星で形作られるほぼ正三角形は「冬の大三角形」と呼ばれている。

大都会でもない埼玉の片田舎でも、巷の明るさで見える星は少なく、下手すると1等星以上の明るい星しか見えない。従ってこの冬の大三角形は目を楽ませてくれる貴重な存在だ。

★オリオン座ベテルギウス

だが以前よく見えていたベテルギウスが最近どうも暗くてよく見えない。オリオン座の右下に輝くりゲルの方が目立って、平べったい三角形に見える。街灯のない暗がりなら正三角形が目立つかと思いきや期待外れだった。メガネをかけずに散歩していることもあるが、それにしても

1 等星であるはずのベテルギウスの光度低下は明らかなようで、「どうしたんだろう？ 変だ変だ」と思いながら散歩を続けていた。

ところが最近届いた月刊雑誌「Newton」4月号に「ベテルギウスが暗くなっている」(7 頁 FOCUS 欄)という記事があり、謎が解けた。「赤色超巨星」状態のベテルギウスは質量の大きな星として寿命末期にあるということらしい。将来的には「超新星爆発」という大爆発を起こす。

昨年 10 月以降暗くなっていることがアメリカの天文学者により報告されていたらしい。数ヶ月経った 2020 年(今年)1 月末には通常時の3分の1程度の明るさに減光しており、過去 50 年間でもっとも暗くなっているという。やはり冬の大三角形として見えにくくなったのはこちらの錯覚ではなかった。

さらにこの駄文を執筆中の今日(2 月 23 日)の産経新聞科学面で「巨星ベテルギウスに異変」という記事を見て意を強くした。それによると、

『ベテルギウスは銀河系にある巨大な恒星で、オリオン座の左上でオレンジ色に輝いている。地球から約 600 光年離れているが、宇宙のスケールでは隣近所だ。直径は太陽の約 1 千倍。仮に太陽と同じ場所であれば、地球をはるかに超えて木星付近まで飲み込む大きさだ。約 1 千万年の寿命を迎えて膨張した終末期の姿で、最期の超新星爆発を起こす直前の状態にある』

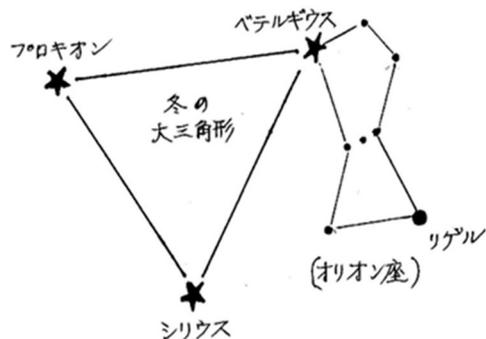
ただしベテルギウスは明るさが周期的に変化する「変光星」なので不思議ではないとのこと。1 月 27 日時点での明るさは 1.8 等星くらいで、明るいときは 0 等星に近いので肉眼でもその差ははっきり見て取れた。

★超新星爆発

さあその大爆発だが、Newton の記事では『ベテルギウスが超新星爆発すると、昼間でも観測できるほど明るい状態が2~3か月はつづくと考えられている』

過去の超新星爆発は、前述の産経新聞によると、1054年「かに星雲(7000光年先)」や、1987年「1987A(16万光年先)」があった。

もし幸運にも(?)600年前にベテルギウスが超新星爆発を起こしていたら現在この目で見られるわけで、良い冥土の土産になりそうだ。



カラスの止まり木

JH3TCC 家田勝幸(和歌山県岩出市)

冬の小雨が降るような寒い朝によくカラスが止まっています。

アンテナを回しても羽をバタバタさせてバランスをとって遊んでいるように見えます。アンテナを下げると気持ちが悪いのかすぐに飛んでいきます。アンテナの下は糞で真っ白になることがあります。

最高は八羽止まっていた。ねぐらはどこにあるのでしょうか。すぐ北の方に山があるのでそのあたりでしょうか。

電線には雀がいっぱい止まっていますが、カラスは電線には止まりませんね。電柱のてっぺんに止まっています。しかし、最近の電柱はてっぺんにとがったかぶせ物を載せてあるのでカラスが止まれません。そのためにアンテナに来るのでしょうか。エレメントの太さがカラスにはちょうど掴みやすいのかもわかりませんね。

不思議なことに春になってあたたかくなったら全く止まいません。



庶務とMARS ニュース

入・退会、コールサイン、住所の変更などの
事務手続きは**MARS事務局**へ。

〒028-7303 八幡平市柏台2-8-2

東八幡平病院内

日本医師アマチュア無線連盟

電話 0195-78-2511

F A X 0195-78-3437

E-mail tadato@rnac.ne.jp

2020年度の年会費(8000円)は郵便振替の
振込用紙を同封させていただきましたので、お
振込よろしくお願ひします。インターネットバン
キングでのご送金も可能です。

ゆうちょ銀行からは、

記号 10610 番号 55919841

銀行振込の場合は、

ゆうちょ銀行 ゼロロクハチ支店(068)

当座 5591984

日本医師アマチュア無線連盟

MARS ニュースへの御寄稿は、

〒640-8331

和歌山市美園町5-1-8山榮ビル3階

眼科田中クリニック内 MARSニュース編集部

電話 073-427-3010

F A X 073-427-2135

E-mail marsnews@tanakaclinic.jp

パソコン(またはワープロ)の場合、再入力の手間を省くため、E-mail(またはUSBメモリーもしくはCD-Rの郵送)でお送りください。特殊記号などが文字化けすることがあり、pdfファイルをmailに添付していただくか、プリントアウトした原稿をファックスまたは郵送してください。なお、紙面の都合により、原稿を短縮させていただいたり、写真の選択やトリミングをさせていただきますので、ご了承ください。

Zoom ミーティング

第2水曜日の夜に Zoom ミーティング (by JM3FUW) を開催しております。詳細はその都度メールリグリストで告知されます。次回は11月11日21時です。

新入会員の先生です

JE6ICQ (ex JA0MWJ)

5Z4/JE6ICQ(ケニアの常駐局)

武居 光雄 先生 (大分市)

編集後記

COVID-19の影響でMARS総会も開けず、学会も開かれなかったりWeb開催になっています。総会の報告ができなかったため、今号のMARSニュースは少し厚みが不足していて申し訳ありません。

アマチュア無線を個人でやるのが三蜜を避けるためにはベストな趣味であると声高に言えるようなことをしているだけ、まだ恵まれてるのかな?

早く皆様に通常の体制でお目にかかる日を心待ちにしております。

DE JF3JON

日本医師アマチュア無線連盟会報
(第80号)

発行：日本医師アマチュア無線連盟

発行日：令和2年10月30日

編集：田中憲児(JF3JON)

印刷：西岡総合印刷株式会社

Tel 073-425-1341 Fax 073-436-0855

URL <http://www.nishioka.co.jp/>

E-mail info@nishioka.co.jp